

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年3月22日

事業所名：放課後等デイサービス リズム

		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	プレイルームではグランドピアノ等楽器を設置し、音楽療法が行える十分なスペースを確保している。学習スペースとして、個別対応を行うために個室を準備している。	自分たちの勉強部屋ができた嬉しそうに話し、喜んでいる	保護者とともに取り組めるプログラムを通して、これからも保護者からの要望(必要なスペース)にも応えられるようにする。
	2	職員の適切な配置	専門職を配置し、少人数で利用者の特性に合わせた個別対応を行っている。	スタッフ全員有資格者であることで安心できる。	資格だけにとらわれず、研修等にも積極的に参加できる環境づくりに努めたい。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	自宅と同じ一軒家であり、利用者にわかりやすい構造となっている。個室での対応等、利用者の特性に応じた環境を整備している。	一軒家なので庭もあり、ゆったり落ち着いて過ごせるようである。	屋外(庭)での活動を活発に行えるように、環境を整備する。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	空間除菌等、感染症対策を行っている。	心地よく過ごせているようである。	保護者の要望を受け入れていく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員に対し、参画を促している。	/	これからも目標設定と振り返りを行い、サービスの向上を図る。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価については、今後、実施予定である。		外部評価を実施し、サービスの向上を図りたい。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内研修に加え、外部研修にも積極的に参加できるように勤務時間を考慮し、費用負担を行っている。		これからも研修機会を確保し、職員の資質の向上を図る。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児童発達管理責任者を中心にすべての職員でアセスメントを行い、アセスメントに基づいた計画書を作成している。	課題を分析し、計画が作成されている。	これからも適切なアセスメントに基づいた計画書を作成し、サービスの向上を図る。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動と集団活動を子供の状況に応じて組み合わせ、計画を作成している。		これからも子供の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成し、サービスの向上を図る。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	各項目を設定し、計画を作成している。		これからもサービス計画に子供の支援に必要な項目を設定・具体的な支援内容を記載し、サービスの向上を図る。

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 t(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	すべての職員が計画を掌握し、適切に支援を行っている。	計画に沿った支援・サービスの提供が行われている。	これからも計画に沿った適切な支援を行い、サービスの向上を図る。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	専門職であるすべての職員が、活動プログラムの立案に携わっている。	平日(放課後等)・休日・長期休暇に応じたきめ細かなサービスが行われているので、子供が楽しんで利用している。	これからもチーム全体で活動プログラムを立案し、サービスの向上を図る。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日(放課後)は短時間で取り組める学習支援を中心に、休日は実習・お出かけを実施している。		これからも平日(放課後)・休日・長期休暇に応じたきめ細かな支援を行い、サービスの向上を図る。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムが固定しないように、利用者のニーズに基づいたサービスを提供している。		これからも利用者のニーズに基づいたサービスを提供することで活動プログラムの固定化を防ぎ、サービスの向上を図る。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前には、全職員で支援内容・役割分担について確認を行っている。		これからも支援開始前には全職員で支援内容・役割分担について確認を行い・サービスの向上を図る。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了時には、職員間で支援の振り返り・情報の共有化を図っている。	これからも支援終了時には職員間で支援の振り返り・情報の共有化を図り、サービスの向上を図る。	
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援経過を正確に記録している。	これからも正確に支援経過を記録(記入)し、サービスの向上を図る。	
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的モニタリングを行い、サービス計画の見直しを行っている。	これからも定期的にモニタリング(サービス計画の見直し)を行い、サービスの向上を図る。		

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	子供の状況に精通した児童発達支援管理責任者が担当。	相談支援事業所でのサービス担当者会議等への参画は、子供の状況に精通した児童発達支援管理責任者が行う。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要な利用者の受け入れはない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要な利用者の受け入れはない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	支援内容等、情報共有に必要な書類を整え、要望があれば情報共有を行う。	児童発達支援事業所から移行支援が円滑に行えるようにする。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	支援内容等、情報共有に必要な書類を整え、要望があれば情報共有を行う。	卒業後には、障害福祉サービス事業所に十分な情報提供ができるようにする。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センター等、専門機関での研修については積極的に受講できるように配慮している。	これからも児童発達支援センター等、専門機関での研修については積極的に受講したい。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の行事に参加する等、障害のない子供との交流が持てる機会を提供している。	地域の夏祭りに、障害のない子供と一緒に参加できたことをとても喜んでいて、これからもこのような機会があれば参加させたい。	これからも障害のない子供と交流できるような機会を提供する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	計画している。	子供が楽しめることは企画して欲しい。	これからは事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業の運営を目指したい。

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	面談(メール・電話等)・送迎時に丁寧な説明を行っている。	きちんとした説明がある。	これからも丁寧な説明を心掛けたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時に丁寧な説明をおこなっている。	きちんとした説明がある。	これからも丁寧な説明を心掛けたい。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	計画している。	機会があれば受けてみたい。	これからはペアレントトレーニング等を実施し、保護者の対応力向上を図りたい。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡メール(メール・電話)を活用し、送迎時には保護者と共通理解が行えるようにしている。	子供は詳しいことは言わないときもあるので、知らせてもらおうとデイサービスでの様子がわかりやすい。	これからも日頃から保護者との共通理解の徹底に努めたい。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	児童発達支援管理責任者が個別面談を行っている。	卒業後のことなども相談できるので安心。	これからも個別面談を行い、保護者からの悩みに対する相談への適切な対応・助言を心掛けたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者同士の連携支援を行っている。	情報交換できるとよい。	これからも保護者同士が情報交換できるように、保護者同士の連携支援を行う。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合の対応について、対応体制整備を行っている。		これからも苦情があった場合の対応体制整備を行い、迅速かつ適切に対応できるようにする。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子供の特性に合わせた対応を行っている。	配慮されている。	これからも子供の特性にあった対応が行えるように配慮したい。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	メールを活用し、発信している。	ホームページがあれば見たい。	ホームページを作成し、発信していきたい。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きの書庫に保管し、個人情報の取り扱いに留意している。		これからも個人情報の取り扱いについては十分な対応を心掛けたい。

		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを策定し、研修で周知を徹底している。		保護者への周知も徹底して行いたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害の発生に備え、訓練を行っている。		これからも非常災害の発生に備え、必要な訓練を実施していきたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	マニュアルに基づき、職員研修を行っている。		これからもマニュアルに基づいた職員研修機会を確保できるようにするなど、適切な対応を心掛けたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	需要事項説明書での説明を行い、了解が得られた場合は、放課後等デイサービス計画へ記載。		十分な説明を行い、了解が得られた場合は、放課後等デイサービス計画へ記載。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書に基づく適切な対応が必要な利用者の受け入れはない。		保護者からの指示があれば、適切な対応を行う。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有の徹底を行っている。		これからもヒヤリハットについて、事業所内で共有の徹底を心掛けたい。